

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学校の教育目標

- <学習・探究意識の確立>
・積極的な学習と探究活動
・ICTの発展的活用
・個別支援の拡充
<規範意識の向上>
・社会で通用するマナーの修得
・安心して過ごせる環境づくり
・頑張りやすい雰囲気づくり
<豊かな体力と社会性の増進>
・他者への思いやりと感謝しあえる関係構築
・協働的な活動を活かした体力づくり
・健康な身体と人間力の育成

各学校で定める目標と育成する資質・能力

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

総合的な探究の時間の学習評価

授業担当者による協議や情報交換に基づき、学習状況の過程から結果までを総合的に評価する。
第1学年
発表やグループ協議など授業への参加姿勢から授業後の振り返りまでを評価する。
第2学年
課題設定の適切さ、情報収集及び分析の精度、中間報告、まとめ発表をそれぞれ評価する。
第3学年
課題設定の適切さ、情報収集の精度、自己分析の客観性、振り返りをそれぞれ評価する。
全学年
個々の1年間の成果「学びの総括」を評価する。

生徒の実態

大学進学を目指す生徒や、自分の強みを活かして就職したい生徒、部活動に打ち込みたい生徒等、学校生活に対し様々な期待を抱く多様な生徒が在籍する。一方、学業をはじめ全般において現状で満足し、さらに上を目指そうという積極性に欠ける傾向もみられる。

生徒の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする生徒への指導

個に応じた課題や、グループ活動の際の役割分担の明確化など、すべきことを明示し、取り組みの過程を評価することで、自己肯定感や達成感を育む。

目指す生徒の姿

- 自ら考え行動し、他者と協力して課題が解決できる人財
自己実現に向けて、ひたむきに努力ができる人財
地域を支える核となって活躍する、社会に貢献できる人財

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力）

第1学年「地域活性化・まちづくり提案」
地域社会に関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域社会に対する理解を深め、人々の関わりや協働の大切さに気付く。
第2学年「自己分析と他者理解」
自己の在り方、人との関わりにおける探究の過程において、各自の目標や課題を設定し、意見交換や発表等のグループ活動を通して、探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、自己を客観視し、意見や価値観の異なる他者とも合意形成を図る姿勢を育てる。
第3学年「進路探究」
進路実現のために必要な課題を見だし、課題を整理・分析して解決する力を身に付けるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身に付ける。
全学年「学びの総括」
自己の在り方に関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、自己の特長を認めて自己肯定感を高め、他者との関わりや協働の大切さに気付く。

学習活動、指導方法等

第1学年「地域活性化・まちづくり提案」
取手市においてSDGs（持続可能な開発目標）に基づいて持続可能な社会の実現に取り組む企業などへの訪問（フィールドワーク等）を通して社会に主体的に関わり、環境保全等について理解を深めるとともに地域の課題を把握し、地域活性化・まちづくり提案を行う。
第2学年「自己分析と他者理解」
自己の在り方についての課題設定と解決の取り組みを通して自己分析を行う。
第2学年「地域探究」
自分の居住地域や修学旅行先を対象に、グループを主体として、課題設定、情報収集及び分析、ポスターセッション等の段階的な学習活動を行う。
第3学年「進路探究」
進路希望に基づいて個に応じた進路別の対策を行う中で各自の課題を発見し、情報を整理・分析する過程を通じて課題を解決する力を養う。
全学年「学びの総括」
各自が1年間の取り組み成果を総括し、プレゼンテーション活動を通じた相互評価を行う。

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

- 「総合的な探究の時間」推進委員会（7名）…指導計画及び内容や評価基準の作成にあたる。道徳教育推進委員会も兼ねる。
「総合的な探究の時間」授業担当者による情報交換会…指導方法、評価観点の情報共有と統一を図る。
「探究活動」における地域との連携…取手市役所政策推進部魅力とりで発信課、取手市商工会、地域企業